

05

| ESG・SDGs

創業より受け継がれる「地域の繁栄を願い、地域社会に奉仕する」という行是の理念に則り、グループ全体でSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け取り組むことで、地域の未来を創造し、持続可能な社会の実現を目指す。

七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～

1. 地域経済の活性化

地方公共団体や法人・個人のお客さま等へのコンサルティングや、パートナーシップの推進により、持続可能な社会の実現を目指します



2. 地球温暖化・気候変動への対応

気候変動への対応などにより地球を破壊から守り、自然と調和した街づくりに貢献していきます



3. 一人ひとりの活躍支援

役職員一人ひとりが多様な活躍ができる組織づくりに取り組みます



4. ガバナンスの高度化

ステークホルダーと適切に協働し、コーポレートガバナンスの強化と充実に取り組みます



特定事業等に対する融資方針

環境課題	1. 環境保全 違法な森林伐採や生物多様性を毀損するパーム油農園開発等、環境に重大な負の影響を及ぼす恐れのある案件については、取り組みません。
	2. 低炭素社会への移行 石炭火力発電所の新規建設を資金用途とする融資は、原則として、取り組みません。リプレースメント案件については、環境に配慮した高効率な発電技術（超々臨界圧以上または同等の発電効率性能）を採用する場合に限り、環境への影響等を総合的に勘案し、慎重に対応を検討します。
社会課題	1. 人権侵害の防止 人身売買、児童労働または強制労働に関与する事業者に対する融資は、資金用途を問わず、取り組みません。
	2. 非人道兵器の排除 クラスター弾等の非人道兵器の開発・製造に関与する事業者に対する融資は、資金用途を問わず、取り組みません。

ESG・SDGs 関連の主な実績と取組事例

■ 再生可能エネルギー関連融資	354件/1,627億円	■ グリーンボンド	23件/302億円
■ 77ESG私募債	47件/62億円	■ サステナビリティボンド	7件/37億円
■ 社会貢献私募債（寄付型）	378件/305億円	■ ソーシャルボンド	12件/95億円
■ 地域ESG融資促進利子補給事業の活用支援	4件/3.7億円	■ サステナビリティ・リンク・ボンド	2件/4億円
■ 中小企業・SDGsビジネス支援事業（JICA）の活用支援	1件	■ サステナビリティ・リンク・ローン	2件/17億円

※1.再生可能エネルギー関連融資は震災後から2021年3月末までの累計 ※2.私募債は商品取扱開始から2021年3月末までの累計 ※3.地域ESG融資促進利子補給事業の活用支援は2021年3月末までの累計 ※4.中小企業・SDGsビジネス支援事業（JICA）の活用支援は2021年4月の実績 ※5.グリーンボンド等、債券の購入およびサステナビリティ・リンク・ローンは2018年4月から2021年3月末までの累計

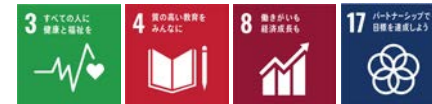
■ ソーラーシェアリング事業に対する融資



完成イメージ（実際は写真の40倍相当の設備規模）

2021年1月、二本松営農ソーラー株式会社が福島県二本松市で実施する、太陽光発電と農業を同時に行う大規模営農型発電事業（ソーラーシェアリング）に対して融資を実行しました。太陽光を農業生産と発電とで共有するソーラーシェアリング事業は、次世代の農地活用の形として注目されています。

■ 遺贈にかかる提携



2021年4月、遺言信託、遺言代用信託をご利用いただいたお客さまの、ご家族以外にも「資産をのこしたい」というニーズにお応えするため、「東北大学」および「日本赤十字社」と、遺贈に関する連携協定を締結しました。

■ 「<七十七> 地方創生マッチングイベント」の開催



地方創生に向けた包括連携協定を締結している地方公共団体と民間事業者の双方の課題解決を目的に、当行が主体となり形成している「みやぎ広域PPPプラットフォーム（通称：MAPP（マップ））」では、地域課題の共有および解決に向けて、「<七十七> 地方創生マッチングイベント」の開催等、さまざまな取組みを行っています。

2021年1月28日から2月3日にかけて、地域課題を有する地方公共団体と、課題解決策を提供する民間事業者とのマッチングイベントを開催しました。また、地方公共団体からの要望に基づき、2021年5月11、12日にも追加で個別相談会を開催しています。

地方創生に向けた包括連携協定の締結先については、2021年3月末現在、宮城県および県内の全35市町村と福島県内の2市町、計38団体となっています。



個別相談会の様子

地方公共団体と民間事業者による1対1の相談会を設定し、課題解決に向け具体的な相談や意見交換が行われました。



オンライン会場の様子

リアル参加とオンライン参加のハイブリッド開催で、多数の方にご参加いただきました。

4つの重点項目を設定し、従業員一人ひとりが、仕事に対してより一層「働きがい」や「充実感」を持ちながら、心身ともに健康な状態で、持てる能力を最大限に発揮できる生産性の高い組織づくりや、従業員と組織がともに成長し続け、コンサルティング能力を高めていくことで、地域のお客さまから選ばれる銀行になることを目指す。

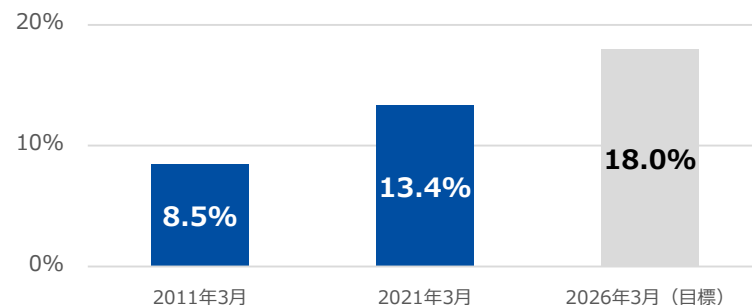
- ① ワークライフバランスの実現 ② 多様な人材が活躍できる環境の整備 ③ 魅力ある人財づくり ④ 健康経営の推進

■ 復職支援の取組み



女性が活躍できる環境づくりに向けて、産前・産後休暇および育児休業を取得している女性行員を対象とした座談会「Work (わく) Work (わく) すこやかクラブ」を定期的を開催しています。

管理職に占める女性の割合



当行の取組みにかかる外部評価

① 2020 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

女性活躍推進に優れた企業を選定する「MSCI日本株女性活躍指数」の構成銘柄に採用 (2020年12月時点)

② 2021 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500

「健康経営優良法人2021 (ホワイト500)」

③ プラチナくるみん 子育てサポートしています

次世代育成支援対策推進法にもとづく特例認定「プラチナくるみん」

④ 女性のチカラが活きています 2020~2021 宮城県認証企業 ゴールド認証企業

宮城県女性のチカラを活かす企業認証制度「ゴールド認証企業」

⑤ 女性が活躍しています!

女性活躍推進法にもとづく一般事業主認定「えるぼし (3段階目)」

※ 株式会社七十七銀行のMSCI指数への組入れ、MSCI DGI 商標・サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたはその関連会社による株式会社七十七銀行への後援、保証、販売促進ではありません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名称およびロゴはMSCIまたはその関連会社の商標またはサービスマークです。

業務執行体制の強化等、コーポレートガバナンスの更なる充実を通じて企業価値の向上を図る。

業務執行体制の強化

■ 執行役員会の設置

2014年に執行役員制度を導入して以降、執行役員の増員等により、業務執行にかかる機能の強化・迅速化を図っています。

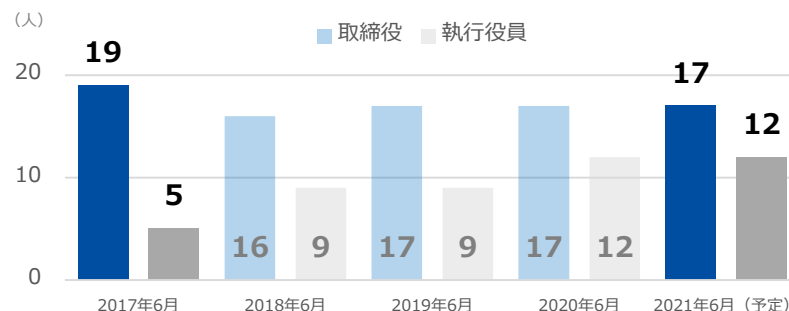
執行役員による業務執行体制の更なる強化を図るため、2021年6月に「執行役員会」を設置します。

各種委員会による組織の活性化

リスクマネジメントの強化および時代の変化を踏まえた施策を検討することを目的として、組織横断的かつ役員・担当者から構成される各種委員会を設置しています。

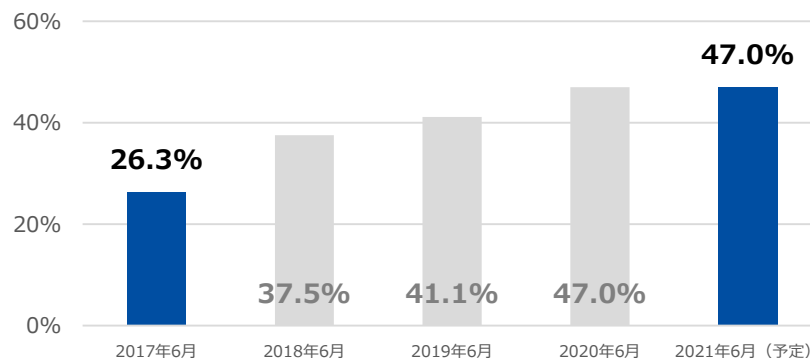
- ・コンプライアンス委員会
- ・内部統制委員会
- ・**執行役員会**（2021年6月）
- ・A L M・収益管理委員会
- ・震災復興・金融円滑化推進委員会
- ・**デジタル戦略検討委員会**
- ・**事務レス促進委員会**
- ・シニアサービス・サポート検討委員会

＜ 取締役および執行役員の人数推移 ＞



社外取締役比率の推移

社外取締役の選任等を通じて、実効性の高いコーポレートガバナンス体制を構築しています。



地域社会の一員として地域社会との交流を深めるとともに、文化・教育振興支援、社会福祉活動等の社会貢献の継続的な活動を通じ、地域との共栄、地域奉仕を実践しています。

スポーツの振興

運動部の活動を通じた地域のスポーツ振興



金融教育の支援

金融資料館の運営



お子さま向け金融教育サイトの提供



社会福祉への貢献

七十七愛の募金会による募金



環境問題への取組み

森林保全活動



地域との交流

地域の清掃活動



文化活動の後援

各種文化活動への協賛



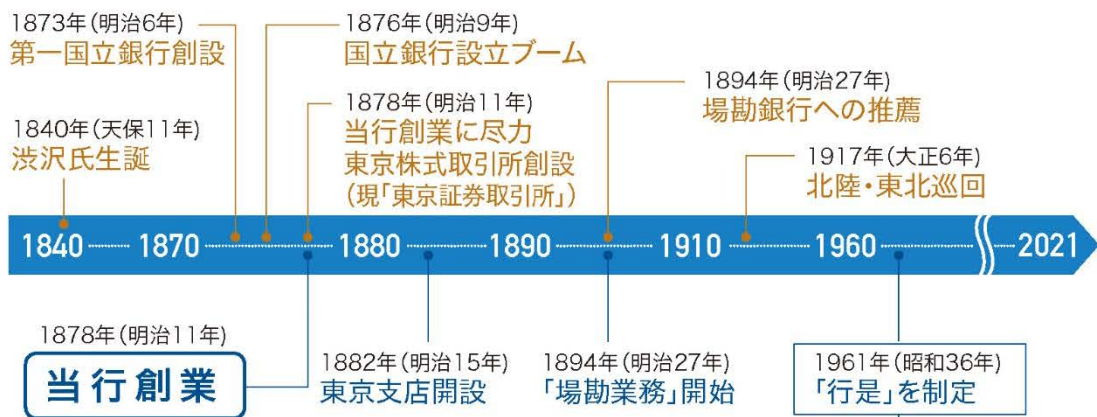
「日本の資本主義の父」と呼ばれた実業家の渋沢栄一は、当行の設立に大きく貢献した人物であり、渋沢翁の「道徳経済合一」の精神は当行の行是に今も息づいています。



渋沢 栄一氏 (写真：深谷市所蔵)

1840年(天保11年)～1931年(昭和6年)
武蔵国榛沢郡血洗島村(現在の埼玉県深谷市)生まれ。
当行の設立に際し、銀行業の本質や経営の基本的な
考え方等を助言。

2024年度には1万円の新紙幣の図柄となることが決定したほか、2021年のHNK
大河ドラマに取り上げられるなど、いま、注目度の高い人物です。



当行の経営理念を記した「行是」の「銀行の発展は地域社会の繁栄とともに」の一節に、渋沢栄一の「道徳経済合一」の精神が今も息づいています。

行 是

- 一. 奉仕の精神の高揚
銀行の発展は、地域社会の繁栄とともにあることを認識し、つねに奉仕の精神の高揚につとめる。
- 一. 信用の向上
銀行の生命は信用にあることを銘記し、つねにその向上につとめる。
- 一. 和協の精神の涵養
和協の精神は、職務遂行の根幹であることを自覚し、つねにその涵養につとめる。

